

果樹カメムシ類情報第2号

令和5年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

9月上旬以降にヒノキ林から果樹園に飛来する可能性があります ほ場での発生状況に注意しましょう

1 チャバネアオカメムシの発生状況

- (1) 予察灯における誘殺数は、豊橋市、新城市のいずれもやや少ない状況です（図1）。
- (2) フェロモントラップにおける誘殺数は、全体的にやや少ない状況です。
(調査地点：豊川市、豊田市、幸田町、新城市、小牧市)

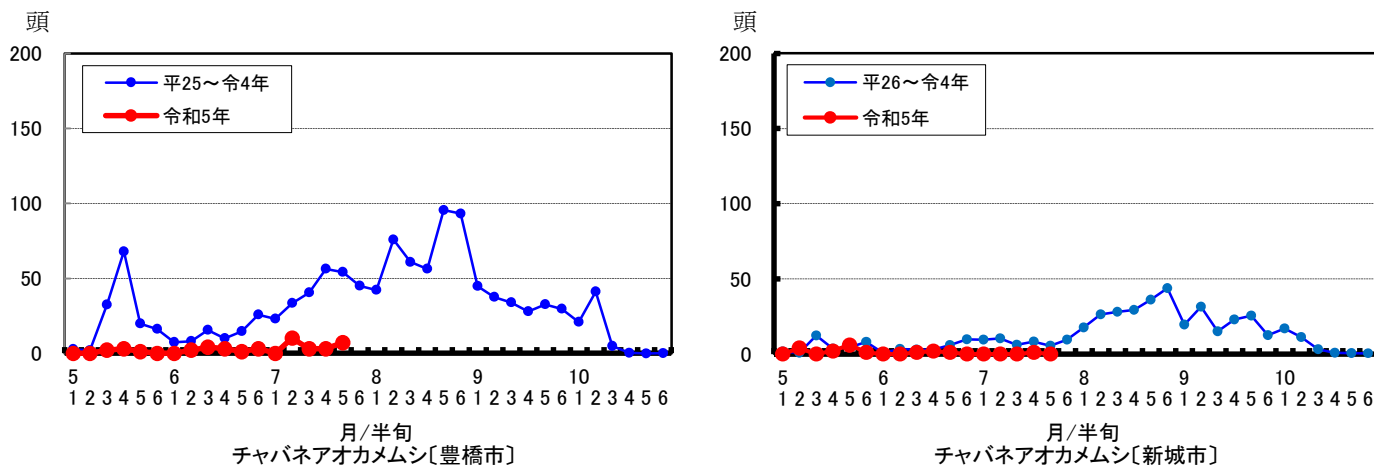


図1 予察灯における誘殺状況

- (3) 7月下旬にヒノキ林で調査を行ったところ、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシの生息虫数は、成虫が0.05頭（平年0.33頭）、幼虫は0.12頭（平年0.32頭）で（図2）、過去10年と比較して成虫は10番目でやや少なく、幼虫は8番目で平年並の状況でした。

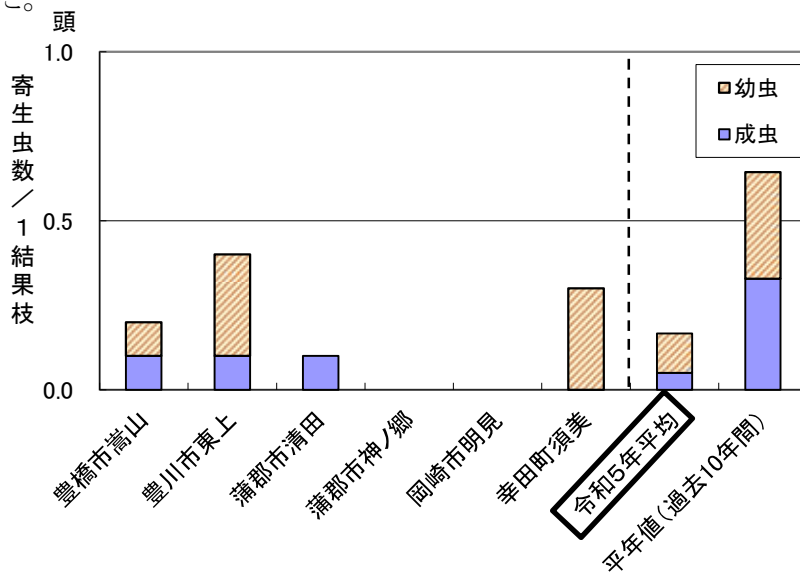


図2 7月下旬のヒノキ球果におけるチャバネアオカメムシ生息虫数

2 今後の発生予測

- (1) 現在は、越冬世代成虫から新世代成虫への世代交代時期に入っています。ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシ幼虫の寄生数はおおむね平年並であり、調査地のヒノキ球果の結実量はおおむね平年並であることから、8月以降に発生する新世代成虫の発生量はおおむね平年並と予測します。
- (2) カメムシ類は、ヒノキ球果における口針鞘数（吸汁した痕）が25本になると餌として不適になるため、ヒノキ林から離脱すると言われていています。7月20日、21日、26日に採取したヒノキ球果における口針鞘数から予測した離脱開始時期は、**幸田町須美では9月中旬、その他の地域では9月上旬です（表）。**
- (3) 中山間部に近い果樹園や例年飛来量が多いほ場では、表の離脱開始予測時期を参考に、**園内の発生状況に十分に注意し、飛来を確認したら防除しましょう。**特に、スギ・ヒノキ林の近くの果樹園では、台風通過などで突発的に飛来が急増することがあるので、注意しましょう。

表 ヒノキ球果の口針鞘数から予測したカメムシ類のヒノキ林からの離脱開始時期

調査地点	豊橋市 嵩山町	豊川市 東上町	蒲郡市 清田町	蒲郡市 神ノ郷町	岡崎市 明見町	幸田町 須美
1球果当たりの 口針鞘数	0.6	1.7	2.8	2.7	1.2	1.5
離脱開始予測時期	9月上旬	9月上旬	9月上旬	9月上旬	9月上旬	9月中旬
ヒノキ球果採取日	7月20日	7月21日	7月20日	7月20日	7月21日	7月26日